

◇—————◇  
公益社団法人 日本航空機操縦士協会  
メールマガジン Vol.112/ 2023/1/16  
◇—————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。  
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—————INDEX—————★

- [1] 【三役コラム】 藤田哲也博士の思い出
- [2] 【常務理事コラム】 ロシアのウクライナ侵攻による航空界の変化について
- [3] 【お知らせ】 会費のクレジットカード決済及びオンライン入会の導入について
- [4] 【航空局】 三沢飛行場周辺を飛行する VFR 機の安全確保について
- [5] 【航空局】 超軽量動力機等に関する航空法第 28 条第 3 項の許可の手続き等の一部改正について
- [6] 【航空局】 「RVR の観測設備の更新に伴う航空保安業務処理規程 第 5 管制業務処理規程の一部改正 (R5.1.26 適用)」について
- [7] 【航空局】 人権尊重ガイドライン啓発セミナーの開催
- [8] 【VOICES FEEDBACK】  
    <①2,000m RWY における RTZL> <②足元注意！>
- [9] 【お知らせ】 第 44 回 ATS シンポジウム動画の公開
- [10] 【お知らせ】 JAPA E-Journal の公開
- [11] 【お知らせ】 セミナー・イベント
- [12] 【JAPA SHOP】 2023 JAPA Calendar 好評発売中！
- [13] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について
- [14] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

- ★—————
- [1] 【三役コラム】 藤田哲也博士の思い出  
    会長 進 俊則
- ★—————

会長の進です、本年も宜しくお願い致します。

昨秋 11 月に開催した航空気象シンポジウムでの冒頭ご挨拶で、何かトピックスは無いかと考えていましたら、ふと 50 年前の出来事を思い出しました。

私が高校 2 年生だったと思いますが、Dr.トルネドーとも言われているシカゴ大学の故藤田哲也博士の講演が学校講堂でありました。

実は高校が同窓で、その縁もあつての講演だったのだと思います。

内容は記憶に無いのですが（申し訳ありません）、唯一の記憶は母校の衛星写真スライド映写でした。

校舎全体がぼんやりと写っていましたが、当時としては驚きでした。

今ではインターネットで鮮明な画像を見る事ができますね。

そんな話をシンポジウムでしたところ、出席者の中に藤田哲也博士記念会の会員の方がいらっしゃって、私をオブザーバーとして定例会に招いて頂きました。

シンポジウムの司会をされた、気象予報士の森さやかさんも会員の一人だと後に知りました。

森さんは藤田博士の実験装置なども所有されているとの事です。

竜巻の本もお書きになっておられますね。

世の中には偶然や必然の面白い繋がり方があるものです。

藤田博士の研究は、航空の安全に如何に寄与しているかはご存知だと思います。

竜巻研究と同時に、ダウンバーストの実証研究などが有名ですね。

私も現役時代、マイクロバーストアラートが発出され、羽田空港への進入を中止した経験があります。2003 年の 9 月、国会議事堂の屋根に落雷し外壁が一部破損した時でした。

地球温暖化の影響でしょうか、年々激しい気象現象が増えている気がします。

泣く子と自然には勝てません、皆さんも安全第一で今年もご活躍下さい。

★

[2] 【常務理事コラム】 ロシアのウクライナ侵攻による航空界の

変化について

常務理事 山村 洋司



ロシアがウクライナに侵攻してまもなく1年が経ちます。それにより、航空界の状況も大きく変わりました。欧州路線においては、ロシア上空を飛行出来ない事により、往路便は北大西洋ルート（米国→カナダ→グリーンランド→アイスランド）、復路便は中央アジアルート（オーストリア→ハンガリー→ルーマニア→ブルガリア→トルコ→ジョージア→アゼルバイジャン→カザフスタン→中国→韓国）で運航しています。これらのルートは、今まで経験した事のない国を通過するので、運航当初は試行錯誤の連続でした。また飛行時間が14時間を超える事により、CREWも3名のマルチから4名のダブル編成に変わっています。今乗員養成においては、2030年のパイロット不足が懸念されていますが、欧州便において乗員が1名増の編成となった事により、パイロット不足に拍車をかけている状況下にあります。更に飛行時間が大幅に増えた事により、燃料費の増大による運航コストの増加やCO2排出の増加により、経済や地球環境に大きな影響をもたらしています。

米国路線においては、180分ETOPS運航を実施するに当たり、途中のロシアの空港がETOPS Alternate Airportとして選定する事が出来ないので、場合によっては207分ETOPS運航を強いられている状況です。

ここ1年で欧州・米国便の運航環境は、大きく変わりました。ロシアによるウクライナ侵攻は、航空業界においてもデメリットでしかないので、ウクライナ問題が早く終結する事を望みます。



[3] 【お知らせ】 会費のクレジットカード決済及びオンライン入会の導入について



JAPAではクレジットカードによる年会費決済とオンライン入会を導入致しました。

カード決済をご希望の方は、会員ページよりクレジットカードのご登録をお願いします。

詳細は HP をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/7460>



[4] 【航空局】 三沢飛行場周辺を飛行する VFR 機の安全確保について



自衛隊の高高度滞空型無人機（グローバル・ホーク）が三沢飛行場に配備され、令和4年12月中旬頃から飛行を開始する予定です。

詳細は HP をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/7689>



[5] 【航空局】 超軽量動力機等に関する航空法第 28 条第 3 項の許可の手続き等の一部改正について



以下の通達を一部改正についてお知らせします。

- ・ 航空法第 28 条第 3 項の規定に基づく業務範囲外行為の許可について
- ・ 超軽量動力機等に関する航空法第 28 条第 3 項の許可の手続き等について
- ・ ホームビルト機の航空法第 28 条第 3 項の飛行許可について
- ・ No.1-005 試験飛行等の許可について
- ・ No.1-006 研究開発用航空機等の試験飛行等の許可について

詳細は HP をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/7713>



[6] 【航空局】 「RVR の観測設備の更新に伴う航空保安業務処理規程 第 5 管制業務処理規程の一部改正（R5.1.26 適用）」について



---

気象庁が設置・管理する RVR 観測設備の更新により、RVR の観測精度が向上したことから、本規程について所要の改正が行われています。

詳細は HP をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/7720>



---

#### [7] 【航空局】 人権尊重ガイドライン啓発セミナーの開催



人権尊重のためのガイドラインの策定については、航空局からの依頼に基づき、2022 年 11 月 29 日付けで、JAPA HP にも掲載、ご案内させていただいたところですが、今般航空局より、そのガイドラインの周知啓発を目的としたセミナーを開催するとの追加情報がありましたので、お知らせいたします。

詳細は HP をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/7731>



---

#### [8] 【VOICES FEEDBACK】

<①2,000m RWY における RTZL> <②足元注意！>



<①2,000m RWY における RTZL>

夜間の着陸時、B777 や B787 等の大型機にとって 2,500m 以上の RWY であれば、たとえ機種ごとの定められた接地帯を超えても RTZL 内に接地できれば、よっぽどの Heavy WT, Tail Wind, Slippery Condition でなければ何とか RWY 上には止まれるという目安を持っている人も多いのではないのでしょうか？ところがあるとき副操縦士と RTZL の長さの話になって、石垣や宮古島等の 2,000m 級 RWY の RTZL の長さを調べてみると、なんと 900m になっているではないですか。2,000m RW

Yの接地帯標識の最後のマーキングは2,000ft（600m）までになっているので当然RTZLもそこまでだと思っていたのに違っていました。私は夜間に2,000級のRWYのRTZLがある側に着陸した記憶がないのですが、今後そのような条件で着陸する場合、勘違いしてしまうとOverrunにつながりかねません。2,000m級RWYのRTZLについて改めて周知した方がいいのではと思います。また大型機の就航しているところだけでも、2,000m RWYでは接地帯標識と同じ長さになればよいと思います。

★VOICES コメント

接地帯標識（Runway Touchdown Zone Marking）は、1,500m以上2,400m未満の滑走路においては、滑走路末端から600mまでとなっていますが、接地帯灯（Runway Touchdown Zone Light）は原則900mまで設置されていることになっていますので注意する必要がありますね。

<②足元注意！>

格納庫内で飛行前点検を行った際、主翼を見上げながら点検作業をしていると、足元に置いてあった整備作業でパーツ洗浄に使用する溶剤の入ったトレイに気づかず蹴飛ばしてしまった。溶剤を床に少量飛び散らせてしまったが、幸い怪我はなく、溶剤が体にかかることもなかった。転倒して怪我をしたり、トレイの中の溶剤に足が浸かっていたらと思うとヒヤっとした。

★VOICES コメント

格納庫内では5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）が大切です。溶剤の入ったトレイがいつから格納庫床面に置いてあったかは不明ですが、誰かが蹴飛ばすおそれがあることを予知し、この状態を発見したら即片付ける習慣づけを育むことが大切です。



---

[9] 【お知らせ】 第44回 ATS シンポジウム動画の公開



10月29日に実施した、第44回 ATS シンポジウム動画を公開いたしました。

HPからご視聴いただけます。

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=8>



---

[10] 【お知らせ】 JAPA E-Journal の公開



E-Journal を公開致しました。ぜひご覧ください。

・ 運航技術委員会

【JAPA E-Journal 2022-012】

CALLBACK514 号和訳「リスクの管理と低減対策」

【JAPA E-Journal 2022-014】

CALLBACK515 号和訳「プッシュバック交信に潜む危険性」

・ ATS 委員会

【JAPA E-Journal 2022-013】

ATC 再発見 Vol.036 【管制官とパイロットの責任分担 ～進入許可～】

<https://www.japa.or.jp/e-journal>



---

[11] 【お知らせ】 セミナー・イベント



≪第 10 回 SRM セミナー≫

2 月 28 日 東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

-----

≪（前後半）第 17 回 TEM/CRM セミナー基礎コース≫

3 月 2 日～3 日 東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

-----

《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

2月25日 宮城開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

---

《RNAV 講演会》

2月5日 神奈川/オンライン開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=2>

---

《小型航空機セーフティセミナー》

2月16日～17日 神奈川/オンライン開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=6>

---

※会員限定

《GA 委員会 (株)LUXURY FLIGHT 見学会・講習会(B738 FTD)》

2月19日 東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=10>

---

《セミナー・講習会受講に際しての注意事項》

JAPA が主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するためご参加のみなさまへの注意事項や連絡事項を取り決めいたしました。

セミナー・講習会へのご参加にあたりましては、以下内容をご確認いただきますようお願いいたします。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2020/06/japa20200618.pdf>

尚、その他のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームページ及びメールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくだ



さいますようお願い申し上げます。



[12] 【JAPA SHOP】 2023 JAPA Calendar 好評発売中！



2023年版のカレンダーが好評発売中です！

在庫には限りがございますのでお早めにお求めください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>

※LUXURY FLIGHT 羽田空港本店様では実店舗にてご購入可能です。

<https://737flight.com/>



[13] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について



協会事務局では首都圏での新型コロナウイルスへの感染リスクを考慮し、今後の勤務体制を以下の通りといたします。

期 間：1月16日（月）～（終了に関しては別途お知らせします。）

出勤日：月曜日-金曜日（祝日を除く）

時 間：10：00-17：00



[14] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について



JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページより、ご覧ください。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

\* \* \* \* \*

★次回の配信は2月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法  
については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

-----  
【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール [japa@japa.or.jp](mailto:japa@japa.or.jp)

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>  
-----